

1. 研究課題名：

街区型環境未来都市モデルの構築と
それに基づく都市政策提案



2. 研究代表者氏名及び所属：

北詰 恵一（関西大学 環境都市工学部）

3. 研究実施期間：平成 24～26 年度

4. 研究の趣旨・概要

環境に配慮して作られる社会資本が、後世に引き継ぐにふさわしい資産としての価値を持つためには、それらを利用する市民や企業の行動と足並みを揃えた価値評価が可能な手法開発が必要である。

本研究は、各世帯(家族)や企業(ビルオーナーやテナント)による住まい方・都市活動・環境エネルギー利用の一貫した行動を表現できるモデルとそれに対応した社会資本を管理するためのモデルを構築し、人々の行動シミュレーションによって将来の都市の姿を表現することを目指す。

この成果は、社会資本を守り、育む上で、市民が協働して環境都市政策を考え、提案していく道具となり、環境未来都市を実現することに大きく貢献することが期待される。

5. 研究項目及び実施体制

① 社会資本ストック・マネジメントによるコンパクトな都市形成論

(関西大学)

② 都市機能ストック・マネジメントとスマートモビリティの形成による QOL 向上

(関西大学)

③ 都市環境ストック・マネジメントによる都市代謝インフラとエネルギーインフラの
リ・デザイン

(関西大学)

6. 研究のイメージ

